

2025年1月24日

各位

株式会社 紀陽銀行

温室効果ガス排出量可視化プラットフォーム「C-Turtle®FE」の導入について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、株式会社N T Tデータ（代表取締役社長：佐々木 裕）および株式会社N T Tデータ関西（代表取締役社長：中島 弘嗣）が提供する投融資先の温室効果ガス（以下、GHG）排出量を算定するプラットフォーム「C-Turtle®FE」（以下、本サービス）を導入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 導入の目的

本サービスの導入により、ファイナンスド・エミッション（※）の算定高度化を図るとともに、投融資先とのエンゲージメントを通じて、地域の脱炭素化に向けた取り組みを推進してまいります。

※金融機関の投融資先のGHG排出量

2. サービス概要

金融機関の国際的な排出量算定基準であるPCAFスタンダードに準拠し、金融機関が保有する財務データ等から取引先のGHG排出量を推計することで、ファイナンスド・エミッションの可視化と削減を支援するプラットフォームです。

また、本サービスは「総排出量配分方式」を採用しており、取引先におけるGHG排出量削減努力を反映することが可能となるとともに、CDPとの連携や株式会社N T Tデータによる市場調査により、取引先のGHG排出量の実測値をプラットフォーム上に保有しているため、高い精度でのファイナンスド・エミッションの算定が可能となります。

PCAFスタンダード対応、金融機関様向けGHG排出量算定プラットフォーム



Point 1 PCAFIに準拠したFE算定

国際基準「PCAFスタンダード」に基づいた算定が可能、セクター別、投融資先別の排出量を可視化します

Point2 幅広い企業のGHG排出量情報を保有

大企業から小規模企業まで幅広く企業のGHG排出量情報（一次データ）を保有しており、データクオリティの高い算定が可能です

Point3 取引先とのエンゲージメント促進

取引先のGHG排出量情報を金融機関様へ連携し、情報収集の効率化/取引先管理にも活用できます

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール13「気候変動に具体的な対策を」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。



以上